



ミンコタトロリングモーター

取扱説明書・製品保証書



ミンコタトロリングモーターをご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読み下さい。
お読みになられた後は、必ずいつでも見られる所に大切に保管して下さい。

総輸入発売元



岡田商事株式会社 商事部
〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-7 TEL : 03-5473-0371
URL : <http://www.okada-corp.com>

CONTENTS

はじめに	1
ご使用前に	1
実際に操作するにあたって	1
ハンドコントロールモデル	2
各部の名称／特徴	2
仕様	3
取り扱い方法 (TRAXXISシリーズ)	4
モーターの揚げ降ろし	4
ステアリングの角度／長さ調整	4
ステアリングテンションの調整	5
モーターの深度調整	5
バッテリーメーター	5
フットコントロールモデル	6
各部の名称／特徴	6
仕様	6
マウントの取付け方法	7
エッジ／エッジマクスamシリーズ	7
マクスamシリーズ	8
フォルトレックスシリーズ	8
リフトアシストシステムについて	9
パウガード／モーターの取り外し方	10
モーターの深度調整	13
パウスタビライザーの取り付け方 (フォルトレックスシリーズのみ)	14
ワイヤーケーブルの調整	14
フットペダルの操作方法	15
全モデル共通	16
プロペラの取り付け／取り外し	16
電源に関して	17
バッテリー及び充電について	17
配線について	17
メンテナンスについて	19
修理を依頼される前に	19
保証について	20
保証書	21

はじめに

この度は、ミンコタ トローリングモーターをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。永年にわたり安全にお使い頂く為、実際にご使用になられる前に必ずこの取扱説明書をよくお読み頂き、説明書に従った取付け及びご使用を行って頂けます様お願い致します。またお読み頂いた後も大切に保管して頂けます様お願い致します。

〈ご使用前に〉

- 危険ですので、お子様の手の届かない場所に保管して下さい。ご使用中もお子様の手に触れないように充分注意して下さい。
- プロペラ交換、お手入れ、セッティング、バッテリーの取付け・取外し、及びミンコタ トローリングモーター以外の動力でボートを移動させる時等には、必ずミンコタ トローリングモーターの電源が切られていることをご確認のうえ行なって下さい。
- 改造及び分解等は大変危険ですので絶対に行わないで下さい。もし行なってしまった場合、当社保証サービスは一切受けられなくなります。
- ボートにミンコタ トローリングモーターを付けたまま運送、輸送される場合には必ずしっかり固定されていることをご確認下さい。
- 実際にトローリングモーターを動かす前に、必ず取り付け位置の調整を行なって下さい。
- 運搬中に落としたりして衝撃を与えますと、防水機能が失われたり、故障の原因となりますので充分ご注意下さい。

〈実際に操作するにあたって〉

- 本機の操作中は、本機に損傷を与える可能性のある立木、切株、岩等の障害物にぶついたり、釣り糸や藻をプロペラで巻き込んだりしない様十分にご注意下さい。
- フットペダルは高速運転時においても安全かつ確実に操作できる位置でご使用下さい。
- 船外機等で移動する場合や、モーターシャフトまわりに付いたゴミ等を掃除する場合等、トローリングモーターを水中より引き上げるときは、必ずトローリングモーターの電源が切られていることをご確認のうえで行なって下さい。
- 船外機等で移動する場合には、必ずトローリングモーターを水中より引き上げ、マウントが確実に固定されていることを確認の上行なって下さい。
- もし使用中にモーターやバッテリーに異常が見られた場合には、トローリングモーターの電源を切り、配線等を改めて確認して下さい。原因がはっきりしない場合にはお買い上げになられた販売店までお問合せ下さい。



警告

使用中水中の釣り糸、ゴミ等がプロペラに巻き込まれ、モーター内部に侵入し、防水機能が失われる恐れがあります。ご使用前後は必ず、またご使用中もこまめにプロペラを外し、ご確認されることをお勧めします。
また、強い衝撃や使用頻度によってモーター部の防水機能が劣化したり失われたりすることがありますのでご注意下さい。



警告

ミンコタ トローリングモーターは防水精密機器の為、モーター開封または分解をされますと防水処理が効かなくなり水没または電気系統がショートする等の危険があります。絶対にモーター開封、分解等は行わないで下さい。もし行なってしまった場合は一切の保証が受けられなくなりますのでご注意下さい。



警告

水中以外でモーターを作動させないで下さい。
モーターや各部品の焼きつき、故障の原因となるだけでなく、大変危険です。
絶対におやめ下さい。

ハンドコントロールモデル

■各部の名称／特徴

●コントロールボックス
ボートの取付け位置に合わせて
ハンドルの向きを180°反対
にすることができます。

●デブスカラスクリュー
モーターの高さを上下に調整
するネジ。

●ステアリングテンションス
クリュー
ステアリングの重さ(固さ)を
調整するネジ。締め過ぎるとシ
ャフトを破損する原因になりま
すのでご注意下さい。

●ブラケット
数段階のポジションにモータ
ーの角度を任意に調整で
きます。

●プロペラ
モーターのサイズに合わせた
プロペラをご用意しています。

●バッテリーメーター
バッテリーの残量をチェックで
きます。搭載していないモデ
ルもあります。

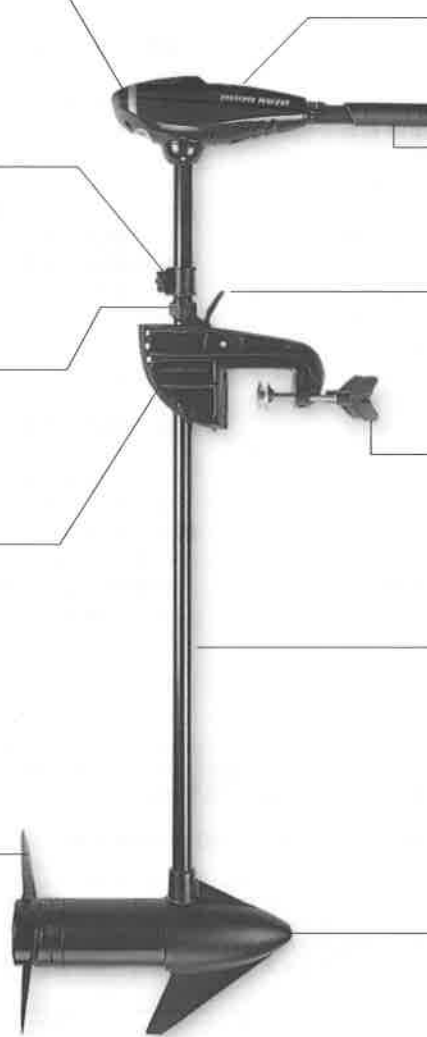
●ステアリング
ON-OFF、前進・後進、パワー
調整がグリップをひねること
によりコントロールできます。

●チルトレバー
モーターの角度を調整す
る際に使います。

●クランプスクリュー
ボートのトランサムに取り付
けます。

●グラスファイバーコンポ
ジットシャフト
しなにより衝撃を吸収し、ス
チールシャフトの約4倍の強
度を誇ります。永久保証。

●永久磁石モーター
トルク重視の低回転仕様です。
静かに力強く推力を生み出
します。



■仕様

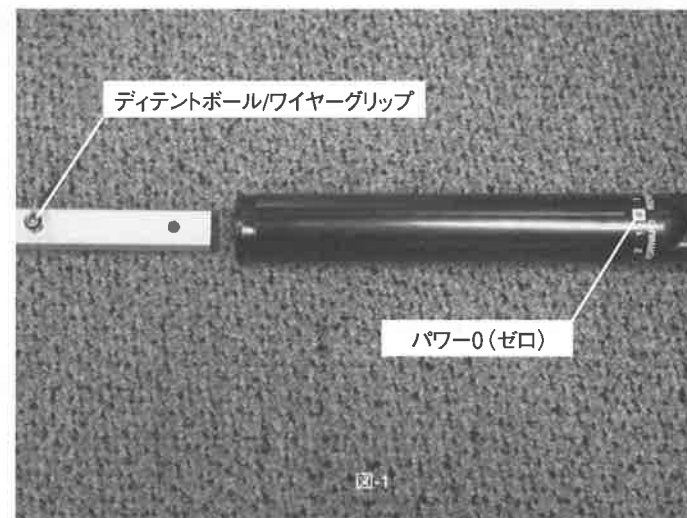
モデル	電圧(V)	推力(LBS)	パワーコントロール	シャフト長(インチ)	マキシマイザー	バッテリーメーター	マウント
ENDURA30	12	30	前進5/後進3	30	-	-	レバーロック
ENDURA40	12	40	前進5/後進3	36	-	-	レバーロック
ENDURA50	12	50	前進5/後進3	36	-	-	レバーロック
ENDURA55	12	55	前進5/後進3	36	-	-	レバーロック
TRAXXIS40/SC	12	40	前進5/後進3	36	-	-	ワンハンドストウ
TRAXXIS55/SC	12	55	前進5/後進3	36	-	-	ワンハンドストウ
TRAXXIS40	12	40	前後進無段階	36	○	○	ワンハンドストウ
TRAXXIS55	12	55	前後進無段階	36	○	○	ワンハンドストウ
RT40/SC/T	12	40	前進5/後進3	36	-	○	ワンハンドストウ
RT55/T	12	55	前後進無段階	36	○	○	ワンハンドストウ

※仕様は予告なく変更になる場合があります。

●ステアリングの取り付け方(エンデューラシリーズ)

エンデューラシリーズはお買い上げ時にはステアリングが取り外された状態で梱包されています。下記の手順に従ってステアリングを取り付けて下さい。

1. インナーハンドルのディテントボールに取り付けられているワイヤークリップを外す。ボールが勢い良く飛び出してしまうことがあるのでご注意下さい。
2. インナーハンドルをアウターハンドルに挿入します。その際ディテントボールとパワー0(ゼロ)の目盛が直線状に揃うように位置を調整すること。
3. カチッと音がするまでアウターシャフトをコントロールボックスに差し込む。
4. ステアリングが正常に伸縮及びひねれるかを確認して下さい。



ハンドコントロールモデル

■取り扱い方法 (TRAXXISシリーズ)

◆モーターの揚げ降ろし

●水平に収納する場合

- ①ステアリングテンションノブを緩めます。
- ②コントロールヘッドの後ろ側とシャフトをしっかりと掴み、モーターを真上に引き上げます(約1cmほど持ち上がり、ロックピンが解除されます)。
- ③そのままヘッドをポート内に収納するように倒し、ポートに対して水平になるところまで角度を倒し、ロックがかかるのを確認します。
- ④ステアリングテンションノブをしっかりと締めた後、クイックリリースデブスカラーを緩め、ステアリングテンションノブに接触するところまでスライドさせた後しっかりと締めます。
- ⑤水中に降ろすには、上記手順の逆をおこないます。

●垂直に収納する場合

- ①シャフトをしっかりと掴み、ステアリングテンションノブを緩めてモーターを真上に引き上げます。
- ②シャフトをしっかりと掴んだまま、ステアリングテンションノブをしっかりと締めます。
- ③クイックリリースデブスカラーを緩め、ステアリングテンションノブに接触するところまでスライドさせた後しっかりと締めます。
- ④水中に降ろすには、上記手順の逆をおこないます。



図-2

この部分をしっかりと押さえてモーターの揚げ降ろしを行なして下さい。

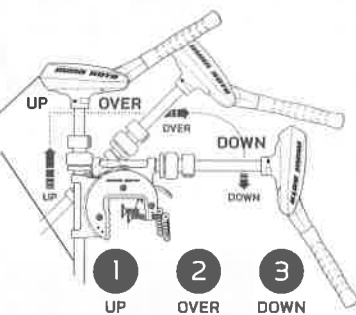


図-3

◆ステアリングの角度／長さ調整

トラックスシリーズはステアリングを7段階の角度に調整することができます。水平よりも下向きに角度を調整する際には、ステアリングから見て左側のコントロールボックスの下にあるリリースボタンを押しながらステアリングを押し下げして下さい。

収納する際に最も小さなスペースで済むように、ステアリングをシャフトに対して水平になるまで下向きに調整することもできます。ただし収納ポジションにまでステアリングを押し下げの際には、必ず事前にステアリングのパワー調整目盛の0(ゼロ)のポジションに設定して下さい。0(ゼロ)以外のポジションにパワー調整していると、ステアリング内部の部品を破損してしまいます。



パワー調整目盛を0(ゼロ)に設定せずにステアリングを収納ポジションにまで押し下げると、ステアリング内部の部品を破損する原因になります。絶対におやめ下さい。

ハンドルの長さを調整するには、ハンドルをそのまま引っ張ったり押し込んだりして下さい。

ステアリングで前進／後進のパワー調整及び舵取りを全てコントロールできます。



図-4

リリースボタン

ステアリングテンションノブ

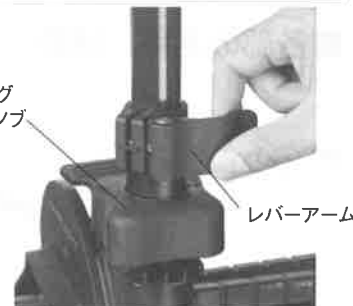


図-5

レバーアーム

◆ステアリングテンションの調整

ステアリングテンションノブの締め付けを調整することにより、ステアリングの重さ(固さ)を自由に調整することができます。

●モーターの深度調整

クイックリリースデブスカラーのレバーアームを開きテンションを解除し、好みの位置にクイックリリースデブスカラーをスライドさせてから改めてレバーアームを締めます。レバーアームのテンションはドライブバーで簡単に調整できます。テンションのかけ過ぎは部品の破損の原因になりますのでご注意下さい。



ステアリングテンションの調整及びモーターの深度調整を行なう際には必ずシャフトをしっかりと握ってモーターが真下方向にずり落ちないように注意して下さい。モーターが勢いよくずり落ち、思わぬ怪我や破損の原因になります。

◆バッテリーメーター

バッテリーメーター搭載モデルは、コントロールボックス上部のテストボタンを押すと4段階のLED表示でバッテリーの状況をお知らせします。

バッテリーメーターはモーターのパワー調整が0(ゼロ)の時のみ正常に作動します。

- LEDが4つ点灯したときはバッテリーが満充電であることを示します。
- LEDが3つ点灯したときはバッテリーの充電状況が良好であることを示します。
- LEDが2つ点灯したときはバッテリーの充電状況が低下していることを示します。
- LEDが1つ点灯したときはバッテリーをすぐに充電する必要があることを示します。



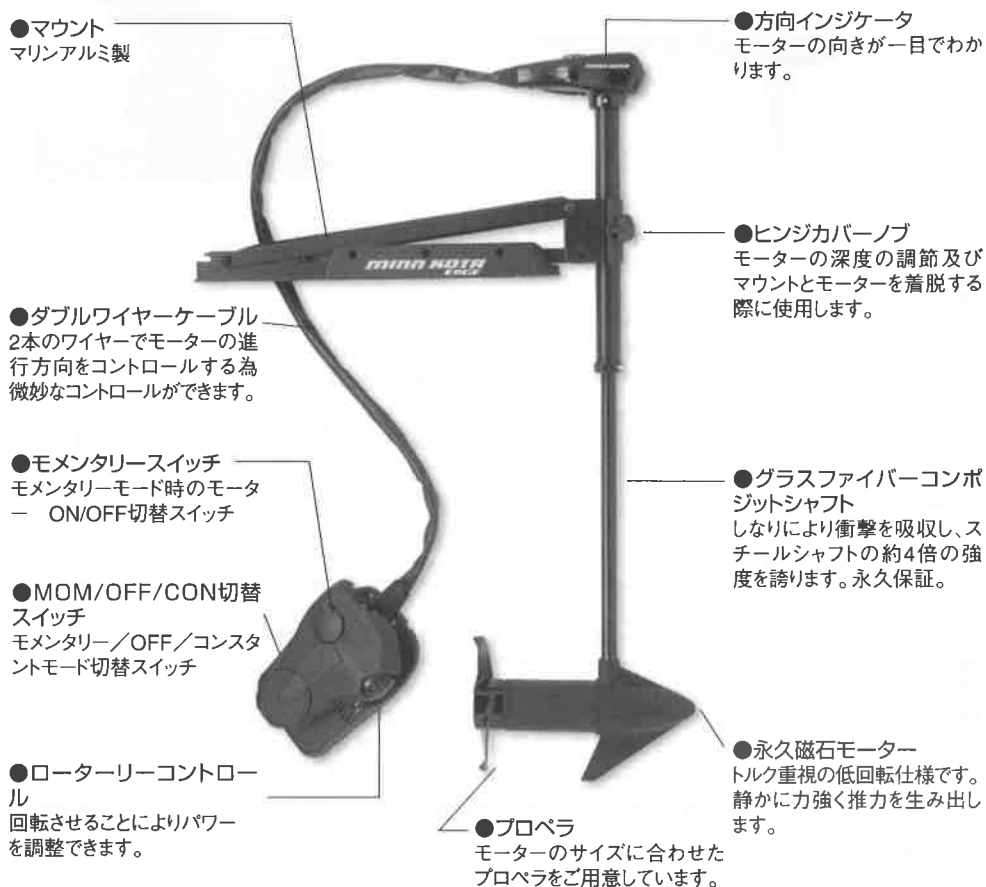
バッテリーメーターの表示はあくまでも目安としてお使い下さい。より正確な状況を確認するには市販のテスター等をお使い下さい。



図-6

フットコントロールモデル

■各部の名称／特徴



■仕様

モデル	電圧(V)	推力(LBS)	パワーコントロール	シャフト長(インチ)	マキシマイザー	バッテリーメーター	マウント
EDGE40	12	40	前進5段階	36/45	-	-	ロックノリッド
EDGE/Maxxum44	12	44	前進無段階	36	○	-	ロックノリッド
EDGE/Maxxum55	12	55	前進無段階	36	○	-	ロックノリッド
MAXXUM70	24	70	前進無段階	42	○	-	パウガード360
FORTREX80	24	80	前進無段階	45/52	○	-	リフトアシスト
FORTREX101	36	101	前進無段階	45/52	○	-	リフトアシスト

※仕様は予告なく変更になる場合があります。

■マウントの取付け方法

◆エッジ／エッジマクサムシリーズ

2名以上で作業をされることをお勧めします。

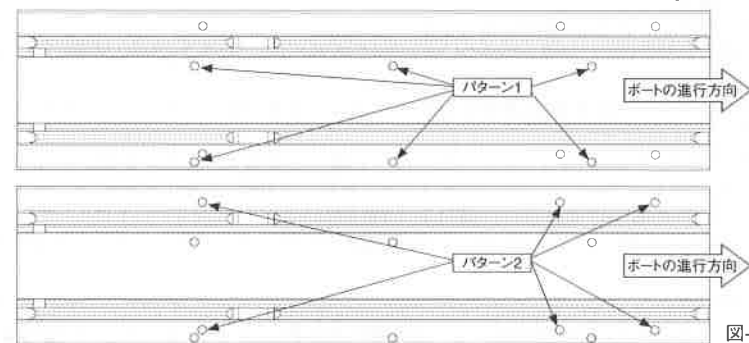
1. マウントをバウデッキ上の平面な場所に置きます。
2. ベルクロストラップがマウントとデッキの間にしっかり設置されているか確認します。ベルクロストラップの位置はマウントのプラスチック製のモーターレストと後方のボルト穴の間あたりにくるように調整して下さい。
3. できるだけモーターがボートのセンターラインに近い場所に設置することをお勧めします。
4. モーターを水中におろす際にシャフトがボート本体や他の何にも触れない場所を選んで下さい。
5. マウント設置場所を選んだエリアのデッキ裏がドリルで穴をあけても問題ない場所であることを確認して下さい。
6. 図7の穴位置パターンのうち、都合のよいほうをお選び頂き6箇所をマジックで穴位置をマークして下さい。

パターン1は以前ミンコタから発売されていたATマウント及びマクサムマウントの穴位置と同じパターンになります。

パターン2はその他一般的に使われているマウントパターンと同じパターンになります。

7. 9/32インチのドリルビットでマークした6箇所に穴をあけて下さい。

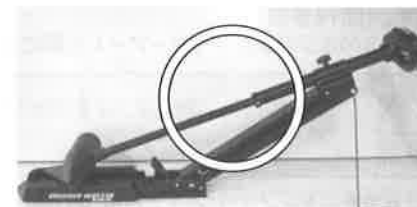
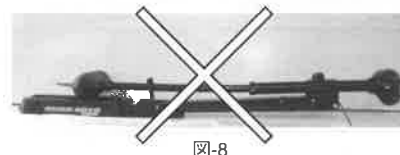
8. 本体に付属しているボルトセットでマウントをデッキにしっかり固定して下さい。



エッジマウントのヒンジドアノブの操作に関して



エッジマウントは収納状態において、ヒンジ部分に大きなテンションをかけて、モーターをしっかりと固定する設計になっています。その為、収納状態においてヒンジドアノブを緩めたり締めこんだりするとノブ及び受け側の雌ネジのネジ山がつぶれてしまいます。ヒンジドアノブは必ずマウントロックを解除し、マウントを起こした状態で使用状態においてのみ操作するようにご注意ください。 図8、図9参照



フットコントロールモデル

◆マクサムシリーズ

2名以上で作業をされることをお勧めします。

1. モーターがついたまま収納状態にあるマウントをバウデッキ上の平面な場所に置きます。
2. できるだけモーターがボートのセンターラインに近い場所に設置することをお勧めします。
3. モーターを水中におろす際にシャフトがボート本体や他の何にも触れない場所を選んで下さい。
4. マウント設置場所を選んだエリアのデッキ裏がドリルで穴をあけても問題ない場所であることを確認して下さい。
5. 場所が決まったらマウントにあけられている取り付け様の穴のうち、少なくとも4箇所以上を選び、マジック等で穴位置をマークして下さい。
6. 9/32インチのドリルビットでマークした6箇所に穴をあけて下さい。
7. 本体に付属しているボルトセットでマウントをデッキにしっかり固定して下さい。

◆フォルトレックスシリーズ

●バウガード／モーターとマウントの取り付け

フォルトレックスシリーズは工場出荷時にバウガード／モーターとマウントを取り外した状態で出荷されます。また、事故防止のため、リフトアシストシステムもわざと取り外した状態になっております。下記の要領でバウガード／モーターをマウントに取り付け、リフトアシストシステムを正常な状態に組み立ててからボートに艀装して下さい。

1. マウントを作業のしやすい水平な場所におきます。
2. 1/4インチの六角レンチを使い、マウントについている六角ボルトとロックワッシャーを取り外します。(図10参照)
3. バウガードの内側とマウントの先端の溝を合わせて、モーターをまっすぐ下方向にスライドさせてしっかりかみ合わせます。
4. 2. で取り外した六角ボルトとロックワッシャーをしっかりと締め込みます。(図11参照)
5. 収納ポジションの状態になれば、リフトアシストシステムを取り付けることができます。
6. リフトアシストシステムを見つけて下さい。(図13・15参照)
7. 2本のプラスドライバーを使ってアウターアームの両横に付いている、プラスのネジの片側1本を外します。(図12参照)



注意

プラスのネジにはネジ止め剤が付いていて非常に外しづらくなっていますので、ネジがなめてしまわないようにご注意ください。

8. 外したプラスのネジの反対側のプラスのネジを、ネジについているピンごとアウターアームから引き抜きます。(図14参照)
9. リフトアシストシステム上部の穴とアウターアームの穴位置を合わせます。(必要であればロープを引いてマウントのロックを外しマウントを少し起こした状態で作業します)
10. プラスのネジとピンをリフトアシストシステムとアウターアーム両方の穴を通るように取り付けなおします。(図16参照)
11. プラスのネジの頭がアウターアームと面位置になるまで両方のネジを締めこみます。



注意

プラスのネジには既にネジ止め剤が付いています。それ以上ロックタイト等のネジ止め剤は使用しないで下さい。

12. これでモーター／マウントをボートに取り付けることができるようになりました。

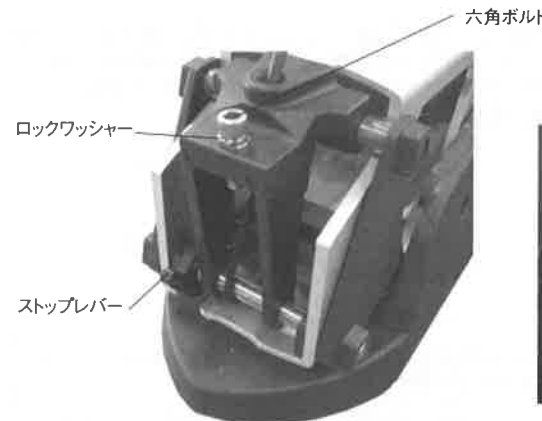


図-10

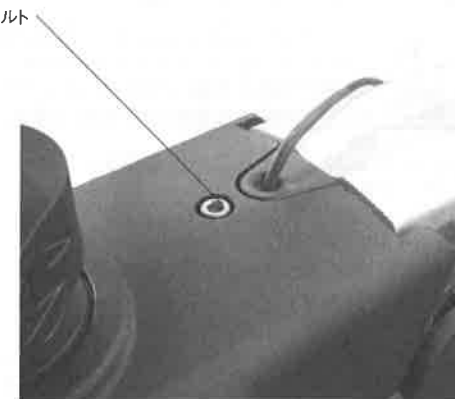


図-11

◆リフトアシストシステムについて



警告

リフトアシストシステムはマウントが使用状態において非常に強いテンションがかかっています。バウガード／モーターをマウントから外す際には必ずリフトアシストシステムの端をアウターアームから外してから作業を行なって下さい。リフトアシストシステムを外さずにマウントとのロープを引いてしまった場合、マウントが勢よく跳ね上がり、大きな怪我や事故の原因になります。

●リフトアシストシステムの外し方

1. 収納状態にあるマウントのリフトアシストシステムの位置を確認します。(図13・16参照)
2. 2本のプラスドライバーを使ってプラスのネジを1本片側だけ外します。(図12参照)
3. 外したのと反対側のプラスのネジ及びピンをアウターアームから引き抜き、リフトアシストシステムを外します。(図14参照)
4. リフトアシストシステムを外した状態のままプラスのネジとピンをアウターアームに取り付け直します。(図15参照)
5. これでマウントを使用状態にして安全にバウガード／モーターをマウントから取り外すことができます。



注意

モーターがマウントに取り付けられていない状態では、ストップレバーを押しながらロープを引かなければマウントの使用状態からロックが外れません。また、収納状態から使用状態にする際にもしっかりと使用状態にすることができません。

リフトアシストシステムを取り付けなおす場合はバウガード／モーターとマウントの取り付けを参照して下さい。

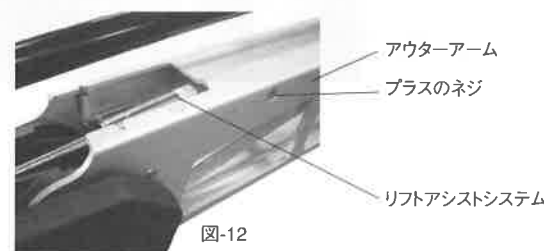


図-12

フットコントロールモデル

◆バウガード／モーターの取り外し方



リフトアシストシステムはモーターが使用状態において非常に強いテンションがかかっております。バウガード／モーターをマウントから外す際には必ずリフトアシストシステムの端をマウントから外してから作業を行なって下さい。リフトアシストシステムを外さずにマウントとのロープを引いてしまった場合、マウントが勢いよく跳ね上がり、大きな怪我や事故の原因になります。

1. リフトアシストシステムの片方の端をアウターアームから取り外します。(P.9リフトアシストシステムの外し方参照)
2. マウントを使用状態にします。
3. 1/4インチの六角レンチを使い、ロープの前に付いている六角ボルトとロックワッシャーを取り外します。
4. バウガード／モーターがマウントから外れるまでまっすぐ上に持ち上げます。



マウントからバウガード／モーターが外されている時、ガススプリングを外さない状態では絶対にロープを引っ張らないで下さい。マウントが勢いよく跳ね上がり怪我や事故の原因になります。



図-13

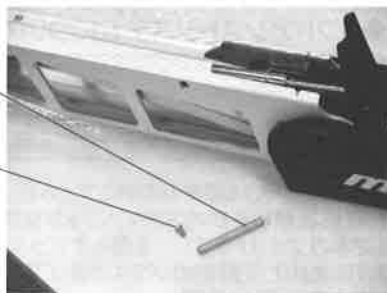


図-14



図-15



図-16

●ボートへの取り付け

2名以上で作業をされることをお勧めします。

1. モーターがついたまま収納状態にあるマウントをバウデッキ上の平面な場所に置きます。
2. できるだけモーターがボートのセンターラインに近い場所に設置することをお勧めします。
3. モーターを水中におろす際にシャフトがボート本体や他の何にも触れない場所を選んで下さい。
4. マウント設置場所に選んだエリアのデッキ裏がドリルで穴をあけても問題ない場所であることを確認して下さい。
5. 場所が決まったら、下図の穴位置パターンのうち、都合のよいほうをお選び頂き少なくとも4箇所以上を選びマジック等で穴位置をマークして下さい。
パターン1はミンコタ製の3インチ長のボルトを使った標準マウント用。
パターン2はその他一般的に使われている4インチ長のボルトを使ったマウントとの互換性があるパターン。



パターン2をお選び頂く場合はマウントの右側サイドプレートを外して作業をする必要があります。

6. 9/32インチのドリルビットでマークした場所に穴をあけて下さい。
7. 付属のベルクロストラップをマウントとデッキの間で、2番目と3番目のボルト穴の間に設置して下さい。(FORTREX80-45のみ)
8. 本体に付属しているボルトセットでマウントをデッキにしっかり固定して下さい。

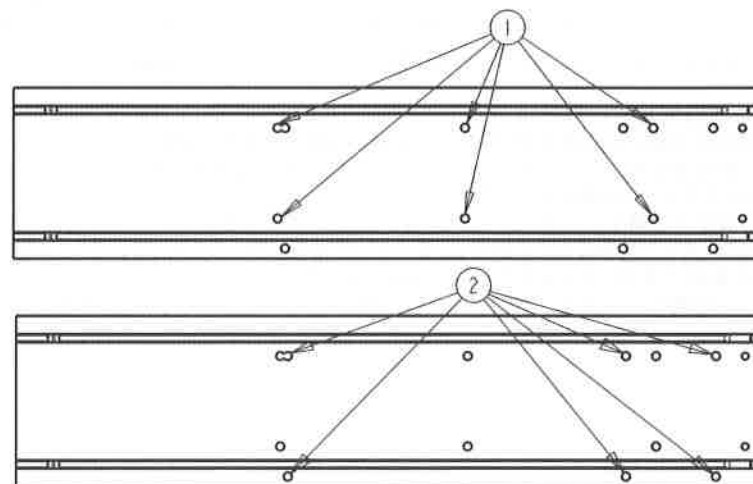


図-17

フットコントロールモデル

◆バウスタビライザーの取り付け方（フォルトレックスシリーズのみ）

*FORTREX80-45には付属していません。

別売（品番:2771979／価格¥9,566）をご用意しております。

1. モーターを収納ポジション（水中から引き上げてマウントがロックした状態）にします。
2. モーターのパウガードの下側にスタビライザーのマウントを、付属の六角ボルトとナットを使ってしっかり固定します。（ブラケットはモーターの左右どちら側にも取り付けることができます。）
3. スタビライザーのロッド（支え棒）からエンドキャップを引き抜き、マウントの横に並べて位置合わせをします。（図20参照）
4. ネジ切りしてある側をデッキに設置させ、ブラケットからロッドが19.1mm飛び出した部分にマークします。（図20参照）
5. マークした位置でロッドを切り、フチを紙やすり等で滑らかにします。
6. ロッドの下端にエンドキャップを取り付け、ネジ切りしてある側をブラケットにねじ込みます。
7. ロッドの先がデッキにちょうど触れる位置に微調整します。（図21参照）
8. 微調整が終わったら、ロッドについているナットをブラケットに対して締め込み、しっかりと固定します。
9. ロッドの上端にエンドキャップを取り付けます。



図-20



図-21

◆ワイヤーケーブルの調整

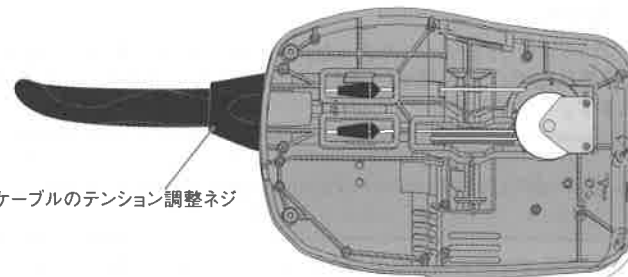
ワイヤーケーブルのテンションは工場出荷時に調整されて出荷されています。

しかし、使用状況に応じて簡単に調整しなおすことができます。

ペダルの先端、ワイヤーケーブルの下に、調整用のネジがありますので、プラスドライバーで締めたり緩めたりしてワイヤーケーブルのテンションを調整することにより、ペダルの踏み込みの重さ（固さ）を調整できます。



調整用ネジを締めすぎたり、緩めすぎると故障の原因となります。少しずつテンションを確認しながら調整して下さい。



ワイヤーケーブルのテンション調整ネジ

図-22

◆フットペダルの操作方法

フットペダルでのほとんどの操作は足と手のどちらでも簡単に行なうことができます。

●ロータリースピードコントロールノブ

5段階・無段階制御ともに、ロータリースピードコントロールノブを回転させることにより、パワーの出力を調整することができます。時計回りに回転させれば、パワーアップ、反時計回りに回転させるとパワーダウンさせることができます。

●MOM/OFF/CONスイッチ

MOM: モメンタリーモードです。モメンタリースイッチを踏んでいる時だけモーターが作動し、足を離すとモーターは止まります。

OFF: すべての動作をストップさせる、電源OFFのモードです。モーターを使用しない場合はこのモードにしておいて下さい。

CON: コンスタントモードです。ロータリースピードコントロールノブで設定したパワーで常にモーターが作動し続けます。

●モメンタリースイッチ

モメンタリーモードの際に、このスイッチを踏むとモーターが作動します。スイッチから足を離すとモーターは止まります。

●左右のステアリング

フットペダルのつま先側を踏み込むとモーターの向きが右回りに、かかと側を踏み込むとモーター向きが左回りに回転し、ボートの進行方向を操作することができます。モーターの向きはコントロールヘッドにある方向インジケータと連動していますので、一目で確認できます。

●前進／後進

フットコントロールモデルには後進機能はありません。

左右のステアリング調整でモーターの向きを180°反対に向けると後進と同じ効果があります。

モメンタリースイッチ

ロータリースピードコントロールノブ

MOM/OFF/CONスイッチ
写真には写っていませんが
ペダル側面にあります。



図-23

全モデル共通

◆プロペラの取り付け／取り外し

1. プロペラをしっかり押さえ、プロップナットをサイズの合ったレンチやプライヤーを使って緩めます。もし、ドライブピンが曲がったり折れたりしている場合マイナスドライバーをプロペラシャフトの端に切られている溝に当てて固定します。



注意

手でプロペラを押さえる際にはプロペラのエッジ等で怪我をしないように充分注意して下さい。

2. プロペラをプロペラシャフトからまっすぐ引き抜きます。もしドライブピンが抜け落ちてしまった場合はプロペラシャフトの穴に差し込みなおします。
3. プロペラを交換する場合には新しいプロペラを上記の反対の手順で取り付けます。
4. プロップナットは手締めで締めこんだ後、レンチやプライヤーで更に1/4回転ほど締め込みます。締めすぎは破損の原因になりますのでご注意ください。



警告

プロペラを取り付けたり取り外す作業に取り掛かる前に、必ずモーターの電源コードがバッテリーから外れていることをしっかり確認して下さい。

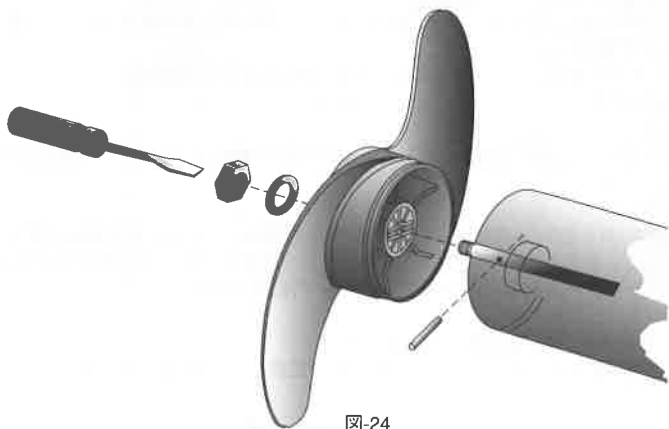


図-24

■電源に関して

◆バッテリー及び充電について

ミンコタローリングモーターはモーターの仕様により、12Vまたは24Vの電源で作動します。最低でも80アンペア以上の容量のマリン用ディープサイクルバッテリーをご使用になられることをお勧めします。スターティング用またはデュアルパーパスのバッテリーのご使用はお勧めしておりません。エンジン始動用のバッテリーとは必ず別のバッテリーをご用意下さい。

バッテリーはご使用後、できるだけ早く充電し、常に満充電の状態を保てるように管理して下さい。ご使用の前には必ずバッテリーが満充電であることを確認し、もし放電しているようであれば満充電にしてお使い下さい。

充電器はお使いになるバッテリーに適合したものを使い、しっかり満充電して下さい。

充電の方法はバッテリー及び充電器の取扱説明書に従って正しく行なって下さい。

■配線について

配線について

●ワイヤーサイズ

配線に使用するワイヤーサイズによりモーターの性能、バッテリーのもち等が左右されます。

ミンコタローリングモーターには、必ず6ゲージ(約5・5mm²)以上のワイヤーサイズを使用して下さい。



注意

6ゲージ未満のワイヤーサイズを使用すると、電流がスムーズに流れず、故障や火災等の原因になります。船体に配線用のプラグ等が設置されている場合には船体製造会社の取扱説明書に従って下さい。

●モーターとバッテリーの接続

必ずモーターの電源がOFFになっていることを確認してから作業を始めて下さい。スイッチがONの状態で作業をしようと思わぬ事故やけがの原因になります。

●12ボルト仕様のモーターの場合

1. モーターの電源コードの赤色コードをバッテリーのプラス(+)ターミナルに、ガタや緩みのない様にしっかりと接続して下さい。付属の丸端子をそのままお使いになる場合は、バッテリーのターミナルの蝶ネジをとめるネジ切り部分に引っかかっていないか、良く確認して下さい。丸端子以外の端子に付け替えてお使いになる場合は、バッテリーのターミナルとの接点が充分で過度の熱をもたない端子をご使用下さい。

2. モーターの電源コードの黒色コードをバッテリーのマイナス(-)ターミナルに、上記1.と同様に接続して下さい。

●24ボルト仕様のモーターの場合

24ボルト仕様のモーターには2個の12ボルトバッテリーを、24ボルトが得られるように直列で正確に配線する必要があります。

1. ジャンパーケーブルを使用し、一方の端子をバッテリーBのプラス(+)ターミナルに、反対側の端子をバッテリーAのマイナス(-)ターミナルに、ガタや緩みがないようにしっかりと接続します。
2. モーターの電源コードの赤色コードをバッテリーAのプラス(+)ターミナルに、ガタや緩みのない様にしっかりと接続して下さい。付属の丸端子をそのままお使いになる場合は、バッテリーのターミナルの蝶ネジをとめるネジ切り部分に引っかかっていないか、良く確認して下さい。丸端子以外の端子に付け替えてお使いになる場合は、バッテリーのターミナルとの接点が充分で過度の熱をもたない端子をご使用下さい。
3. モーターの電源コードの黒色コードをバッテリーBのマイナス(-)ターミナルに、上記2.と同様に接続して下さい。

全モデル共通

●36ボルト仕様のモーターの場合

36ボルト仕様のモーターには3個の12ボルトバッテリーを、36ボルトが得られるように直列で正確に配線する必要があります。

1. ジャンパーケーブルを使用し、一方の端子をバッテリーBのプラス(+)ターミナルに、反対側の端子をバッテリーAのマイナス(-)ターミナルに、ガタや緩みがないようにしっかり接続します。
2. もう1本のジャンパーケーブルを使用し、一方の端子をバッテリーCのプラス(+)ターミナルに、反対側の端子をバッテリーBのマイナス(-)ターミナルに、ガタや緩みがないようにしっかり接続します。
3. モーターの電源コードの赤色コードをバッテリーAのプラス(+)ターミナルに、ガタや緩みのない様にしっかりと接続して下さい。付属の丸端子をそのままお使いになる場合は、バッテリーのターミナルの蝶ネジをとめるネジ切り部分に引っかかっていないか、良く確認して下さい。丸端子以外の端子に付け替えてお使いになる場合は、バッテリーのターミナルとの接点が充分で過度の熱をもたない端子をご使用下さい。
4. モーターの電源コードの黒色コードをバッテリーCのマイナス(-)ターミナルに、上記3.と同様に接続して下さい。

*配線を外す場合は、12ボルト・24ボルトともに上記と反対の手順で外して下さい。



注意

ジャンパーとして使用するワイヤーは、モーターの電源コードに使用しているものと同じゲージサイズ6ゲージ(約5・5mm2)かそれ以上のものをお使い下さい。



注意

長期間使用しない場合はバッテリーから配線を外しておいて下さい。



警告

モーターをバッテリーと接続する前に全てのスイッチがOFFになっているのを必ず確認した上で行なって下さい。



警告

モーターをバッテリーに接続する際には、必ずこの取扱説明書通りの手順で行なって下さい。誤った順番で接続をすると、火傷やバッテリーターミナルの溶解、火災、バッテリーの爆発等思わぬ事故の原因となる場合があります。また、バッテリーのプラス(+) / マイナス(-)ターミナルを誤って逆に接続接続しますと、プロペラが逆回転する(5段階制御のモーター)だけでなく、故障や事故の原因になる恐れがありますので充分注意して行なって下さい。



警告

バッテリーを24ボルトや36ボルト仕様に接続する場合に誤った接続をしますと、火傷やバッテリーターミナルの溶解、火災、バッテリーの爆発等思わぬ事故の原因となる場合があります。充分注意して下さい。



警告

バッテリーはボート内の通気性のよい場所に設置して下さい。

■メンテナンスについて

ミンコタローリングモーターを永年にわたり、常に良好なコンディションでご愛用頂く為に、日頃より下記の項目を確認することをお勧めします。また、異常が発生した際にはご自分で分解したりせず、お買い上げになられました販売店まで点検・修理をご依頼下さい。

1. 使用後、特に海水や塩分を含んだ水域で使用した後は真水で充分にすすいで下さい。水分をふき取り、充分乾かした後でシリコンスプレーや機械油をつけた布で軽くふいて下さい。特に長期間使用しない場合は必ず行なって下さい。
2. プロペラの内側に釣り糸やゴミがからまっていることが頻繁にありますので、釣行の前には必ずプロペラを外して内側を確認して下さい。特に釣り糸は、プロペラシャフトからモーター内部に巻き込まれ、モーターの防水機能を破損してしまうことがあります。釣行の最中にもできるだけこまめに確認されることをお勧めします。
3. 使用前にはプロップナットがしっかり締まっているか、確認して下さい。締め付けが甘いと、使用中に外れてしまうことがあります。
4. 定期的に電装系の配線の緩み、腐食の有無を確認して下さい。緩み、腐食した接点は熱をもち、火災、故障、怪我等の原因になります。
5. 定期的にネジ・ボルト等の締め付け及び組み付けを確認して下さい。
6. 長期間モーターを使用しない場合は、ボートからモーターを取り外し、屋内で保管して下さい。その他不明な点がございましたら、お買い上げになられた販売店までお問合せ下さい。

■修理を依頼される前に

『故障かな?』と思ったら、修理を依頼される前に次の点をお調べ下さい。

- モーターが作動しない
 1. モーターとバッテリーが正しく接続されているか?
 2. バッテリーの残量は充分か?
 3. ブレーカーが作動していないか?
- モーターが逆回転する
 1. モーターとバッテリーの接続がプラス(+)・マイナス(-) 反対になっていないか?
- モーターのパワーが落ちたり回転が遅くなった
 1. モーターとバッテリーが正しく接続されているか?
 2. バッテリーの残量は充分か?
 3. プロペラやプロペラシャフトに釣り糸やゴミ等がからんでいないか?
 4. プロップナットはしっかり締まっているか?
- モーターのパワーが短時間の使用で低下してしまう
 1. バッテリーの残量は充分か?



注意

バッテリーのターミナルや配線の端子が汚れている場合はサンドペーパー等でこすってきれいにして下さい。



注意

上記を確認しても尚異常があるようでしたら、お買い上げになられました販売店まで点検をご依頼下さい。

全モデル共通

◆保証について

岡田商事(株)では、お買い上げ頂きましたミニコタローリングモーターを、下記の保証修理規定に記載された事項に従い、免責修理させて頂きます。

〈ミニコタローリングモーター保証修理規定〉

●製品保証書に販売店によって記入されたお買い上げ年月日から2年間以内に、取扱説明書に従った正常な使用において故障が発生した場合。

●期間内、1回限りで一箇所のみ。

●免責金額：ハンドコントロールモデル ￥4,200

フットコントロールモデル ￥7,350

オートパイロットモデル ￥10,500

●保証期間内におきましても、下記の事項に該当する場合は免責修理を申し受けかねます。(お客様全額ご負担の修理となります。)

1. 正常なご使用以外の誤ったご使用による故障及び破損。
2. 保管やお手入れの不備による故障及び破損。(例：釣り糸がプロペラに絡まって故障した場合、使用後のお手入れが不十分であった場合等)
3. 事故、及び過失による故障及び破損。(例：運搬中に落としてしまった場合、走行中に障害物等に衝突した場合、モーターを水没させた場合等)
4. 塩害及び天災等による故障及び破損。
5. 当社及び当社認定のサービスセンター以外で改造、分解または修理の行なわれたもの。
6. 貸しポート・観光用ポートまたは釣り以外の用途で使用されたもの。
7. 一般的に機能上影響のない腐食、錆及び感覚的現象。(例：音、ガタ、振動等)
8. 経時変化または外的要因により発生した不具合。
9. 正常なご使用においても、消耗部品が自然消耗、磨耗及び劣化したもの。
10. 販売店による製品保証書の所定事項が未記入なもの、または字句を書き換えられたもの。
11. 製品保証書のないもの。
12. 保証期間内であっても転売されているもの。
13. その他当社保証規定審査に合わないもの。

●本製品の故障及び破損に起因する付随的損害については責任を負いかねます。(例：釣行費用、紛失したもの等)

●修理以外に要する梱包費、送料(往復とも)等はお客様のご負担となります。

●保証期間経過後製品の修理につきましては、別途修理料金をお見積致しますので、お買い求めになりました販売店までお問合せ下さい。また、生産中止になったモデルにつきましては、修理をお受けできない場合がありますのでその旨ご了承下さい。

●免責修理以外の修理を希望される場合及びパーツのご注文の際にも製品保証書の提示が必要になる場合があります。

●製品保証書を他人に貸した場合、その保証書は無効になります。

●免責修理をご依頼になる場合、製品保証書と一緒に日付の入った領収書の提示が必要になる場合があります。大切に保管して頂けますようお願いいたします。

●修理をご依頼の際は必ず事前にお買い求めになりました販売店までお問合せ下さい。そのうえで販売店より弊社サービスセンターまで現品を元払いにてご送付下さい。またその際に必要事項が全て記入された製品保証書と不具合の内容を書いたメモを必ず同封下さい。審査の結果、正常なご使用状態においての故障と判断された場合、免責修理をさせて頂きます。



注意

長時間の最大パワーでの連続使用は故障の原因になりますので充分ご注意ください。特にローリングモーターのみをボートの動力としてご使用になる場合は必ず、パドル等をご用意されることをお勧めします。

☆修理についてご不明な点がございましたら、お買い求めになりました販売店までお問合せ下さい。



ミニコタローリングモーター製品保証書

*お買上年月日	モデル	シリアルナンバー
*お買上店名		

*印は、販売店に必ず記入してもらって下さい。記入のないものは保証対象外とさせて頂きます。

フリガナ	生年月日		性別
お名前	年 月 日		男 ・ 女
フリガナ			
ご住所	〒		
お電話番号	()		

*日付の入った領収書の提示がない場合、保証をお受けできない場合があります。

総輸入発売元



岡田商事株式会社 商事部
〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-7 TEL : 03-5473-0371
URL : <http://www.okada-corp.com>

！注意！

スピード調整を行うハンドル部の角度調整をする場合、スピードダイヤルを0%（無段階モデル）、スピードダイヤルをOFF（5段階モデル）に必ず合わせてから調整を行うようご注意ください。

モーター作動中に操作を行うとハンドルつけ部が破損する恐れがございます。

対象モデル：RIPスタンダードモデル、パウハンドモデル、TRAXXISモデル